

登録有形文化財登録証

令和6年12月3日 登録

登録番号第22 - 0339号

旧永田家住宅（高野屋）長屋門 一棟

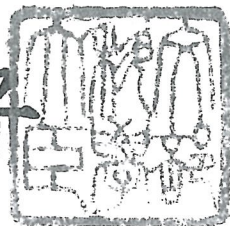
木造平屋建、瓦葺及び鉄板葺、建築面積63㎡

上記の文化財を文化財保護法第57条第1項の規定により
文化財登録原簿に登録したことを証する。

令和6年12月3日

文部科学大臣

阿部 俊子



名称	所在地	建設年代等	登録基準	特徴・評価	備考 (調査等)
旧永田家住宅（高野屋）長屋門	静岡県賀茂郡南伊豆町上小野字八重金谷戸三四八	明治中期／平成一〇年代改修	一 国土の歴史的景観に寄与しているもの	敷地西面南寄りに南北棟で建つ長屋門。寄棟造平入棧瓦葺で、東面に鉄板葺の下屋を付す。外壁を漆喰塗とし腰高に簾子下見板を張る。中央を石敷通路として門口を開き、南北に部屋を設ける。通路南側の小部屋はもと牛小屋と伝わる。旧家の表構えをつくる長屋門。	建築年代は銅版画（明治二六年）と材の経年感の比較による推定。平成一〇年代に内部間仕切り改修。永田家は近代以降、地元銀行取締役などを務めた家柄で高野屋を屋号とし、南上村村長や県議会議員など輩出。

